

備前市事務事業評価表

事務事業名	港湾管理運営事業（日生）	コード	01-01-13-02
		担当課・係	日生総合支所産業建設課管理係
		担当者	磯本直紀
事業実施期間	昭和46年～	電話	(0869)72-1254
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	港湾（東備港の整備）	

事業について	
目的 (何のために)	東備港日生港区の港湾利用者が安全で快適に使用できるよう利用促進を図る。
対象 (誰・何を対象に)	港湾施設利用者及び小型船舶係留施設利用者
内容	施設使用の許認可・徴収・施設の点検・清掃・係留する船舶確認及びこれらに付随する業務。港湾区域内の清掃および管理

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
野積場利用件数	3 件	3 件	
係留施設利用件数	1 件	1 件	
小型船舶係留施設利用件数	85 件	86 件	

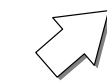
事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	2,082	間接補助金等	7,053	直接事業費	1,988	間接補助金等	7,474			
	人件費	3,550	受益者負担		人件費	4,388	受益者負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	5,632	一般財源等	1,421	合計	6,376	一般財源等	1,098	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.50 人	0.66 人	
結果指標	野積場利用件数	野積場利用件数	
結果指標量	3 件	3 件	
単位	件	件	
対前年比	—	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	1,616 円	1,616 円	
単位当たりコスト	538,666 円	538,666 円	
結果指標名	小型船舶係留施設利用件数	小型船舶係留施設利用件数	
結果指標量	85 件	86 件	
単位	件	件	
対前年比	—	101.18%	0.00%
活動にかかるコスト	4,015,646 円	3,248,773 円	
単位当たりコスト	47,243 円	37,776 円	

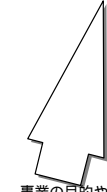
事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	野積場利用については固定化している。小型船舶係留施設の利用が低迷しているため、利用の促進を図っている。		
成果指標名	小型船舶係留施設の利用率	式又は説明 (小型船舶係留施設の利用件数/小型船舶係留施設稼働回数) × 100	
	17年度	18年度	
成果指標量	58	59	
対前年比	—	101.18%	0.00%
到達目標値	80	到達目標年度	平成25年



事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行っている



事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行っている



事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行っている

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 岡山県港湾施設管理及び利用条例	東備港内の奥管理施設の使用許認可事務について県条例により権限委譲されているが、修繕対応等の維持管理は施設管理者である岡山県が実施することになる。利用者が安全な施設利用を行えるよう、岡山県と年次的な施設修繕計画を協議し、早急な修繕対応を実施する必要がある。小型船舶係留施設については、区画割りに問題がある箇所があるため、今後県と協議していく必要がある。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	港湾施設利用料は年度内にほぼ100%徴収できており、県からの交付金で事業を行っている。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	小型船舶係留施設については、区画の規格が小さいうえ施設の老朽化が目立つ、また駐車場がないので利用しづらいという利用者及び利用希望者からの声がある。今後の利用率の向上、係留中の船舶の安全面から考えると、区画(幅)の規格変更も含め施設全体の改修について県と協議が必要である

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	港湾施設利用については前年と同様である。小型船舶係留施設については、利用が低迷している譲許である。施設の修繕等は随時県と連絡を取り施設の安全を図っている。
目標値	結果指標量 3	結果指標量 80	
	成果指標量 1		

総合評価	事業実施することで放置艇が減少したうえ、日生諸島部の市民及び別荘を持つ利用者に有効に利用されている。梅灘地区は特に波風の影響を受けやすい場所であり他施設より老朽化が進みやすいため、アンカーロープ等県が設置している施設付属品の点検等十分に行う必要がある。	評価区分<A~E> C
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	小型船舶係留施設の年次修繕	18年度から	梅灘地区係留施設アンカーロープ及び支柱ガイド交換による係留船舶の安全性の向上。
効率性	小型船舶係留施設の区画変更	18年度から計画・要望	梅灘地区係留施設区画(幅)の規格変更による利用率の向上。